



北区立浮間中学校 校訓 真善美 学校だより

令和7年10月号②

校長 齋藤 真弓

教育目標 自ら考え正しく判断し 主体的に行動できる生徒

感性豊かで思いやりのある礼儀正しい生徒

心身ともに健康な生徒

校 訓 真 善 美 (始業式で話しました)

10月18日(土)は浮間中学校開校記念日です。68年前の昭和32年10月18日に北区立北中学校(現 桐ヶ丘中学校)の分校として始まりました。当時は生徒数113名。今の1学年分にも満たない人数でした。校舎は木造2階建て、体育館やプールもなく、校庭は草だらけで雨が降ると水はけが悪かったからでしょうか、体育の授業はできなかったようです。

それから68年。今では過ごしやすい校舎、校庭、体育館。隣には浮間子どもティーンズセンター、図書館と、教育環境が整っています。生徒数も北区で一番大きい学校となりました。これまでの卒業生、保護者、地域の方々、教職員、北区の教育委員会をはじめ、多くの方々の努力で今の浮間中学校ができています。そして、これからも引き継がれていくものです。

皆さんの保護者の方、ご親戚の方、ご近所の方にも浮間中学校の卒業生という方が身近にいらっしゃるかもしれません。せっかく「浮間中学校」という共通の話題があっても世代が異なると、過ごした校舎やお世話になった先生方、所属の部活動なども異なり、話が発展しにくいかもしれません。しかし、どの世代の卒業生とも分かち合えることがあります。それは「校歌」です。昭和39年に制定されてから、ずっと歌い継がれてきました。どの時代を浮間中学校で過ごしていても、校歌を口ずさめばすぐに世代を超えた仲間となれるでしょう。この校歌は当時の教職員、保護者で校歌作成委員会を立ち上げ、地域のご意見もいただきながら作られたようです。作詞は初代校長 池野 治 先生です。歌詞の中に校訓として挙げられている「真善美」があります。脈々と受け継がれた伝統を大切にこの先も伝えていきましょう。

今日から二学期です。卒業まで残された時間は学年で異なりますが、浮間中学校で過ごす時間には限りがあります。校訓「真善美」に近づいているでしょうか。この二学期もみなさんが目標に向かって、努力する姿を見られることを楽しみにしています。

保護者、地域の皆様

日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。おかげさまで1学期を無事終了し、10月14日(火)より2学期を迎えました。引き続き、生徒たちの安全に配慮しながらご来校いただける機会をつくって参ります。その際はぜひお子様の活躍する姿をご覧くださいたく存じます。2学期もよろしくお願いいたします。

校長 齋藤 真弓

校歌

作詞 池野 治
作曲 大内福三郎

一 彩雲に大地はあけて

かがやく瞳 希望は高く
真をもとめて進む学び舎
創造の雄々しき道を

瞳（みひら）きて われら学ばん
瞳きて われら拓かん

二 青葺の風かぐわしく

荒川の水 流れてやまず
善をもとめて進む学び舎
永久に澄む自律の道を

胸はりて われら築かん
胸はりて われら鍛えん

三 桜草精神（こころ）に咲きて

われら若人 ここに立ちたり
美（よき）をもとめて進む学び舎
思い出のむつみの道を

眉あげて われら歩まん
眉あげて われら歌わん

浮間 浮間 浮間中学校

表彰

（敬称略）

読書感想文コンクール

銀賞 3年生

入賞 1年生 2名

2年生 1名 3年生 1名



ソフトテニス部 秋季大会

女子団体 優勝 男子団体 3位

女子個人 2位

男子個人 3位



北区小・中学生アイデア工夫展

が開催されました （10月11日（土）、12日（日）北とぴあ）

出品者

1年 1組 1名 2組 4名 3組 1名

5組 2名

2年 1組 2名

4組 2名 5組 1名



3年 3組 1名

4組 1名 5組 1名

どの作品も「誰かの役にたたい」という
思いが感じられるものでした。

生徒主体の防災対策

「夕方から今夜にかけて非常に勢力の強い台風が接近
しています。建物が損壊するほどの風が吹くおそれ
があります。気を付けましょう。」



ある日の昼の広報委員による放送
内容です。生徒が主体的に注意喚
起を行っています。自助・共助の
取組に生徒たちの健やかな成長を
感じました。

十月二五日（土）文化祭

お待ちしております。

令和7年度 2学期始業式 生徒代表決意表明

【生徒会代表】 生徒会長

1学期は、行事に活発に取り組むことができました。体育祭では、競技で一人ひとりが一生懸命に取り組んでおり、協力する姿はキラキラと輝いていました。楽しそうな笑顔、歓声がたくさん聞こえてきて、結果にかかわらずみんなで楽しめていると感じました。

また、委員会活動も活発に行うことができました。例えば図書委員会のストーリーカフェなど、生徒がその委員会に興味を持てるよう、工夫されたキャンペーンが多くありました。今日から文化祭での特別時間割が始まり、本格的な練習が始まります。

1学期での良かった点を活かして、合唱コンクールなどの行事に向けてクラスで団結し協力しましょう。委員会活動などにも積極的に取り組んで、浮間中をよりよい学校にしていきましょう。

【6組代表】 3年

1学期、6組の良かったところは、2点あります。

1つ目は、どんなときでもみんなで仲良く過ごせたことです。みんなで協力して、日々の学習や行事などを頑張ってきました。宿泊学習や体育祭などの行事に積極的に参加し、たくさんの楽しい思い出を作りました。

2つ目は、授業で自分のやるべきことに集中していたことです。学級委員や生活委員の声掛けがなくても、休み時間から授業に向かう姿勢へと切り替えることができましたと思います。

一方で、先生方に対しての言葉遣いが不適切だったり、休み時間の過ごし方がうまく出来ていなかったりすることもありました。そこで、2学期は文化祭や校外学習もあるので、場面に応じて言葉遣いや過ごし方などのマナーを守れるようにしていきたいです。

【3年生代表】 第3学年委員長

私たち3学年は「協力・自立・深化～高い志をもち、実現させよう！～」という学年目標のもと、最高学年としての自覚と責任を持ち、よりいっそう気を引き締めて生活してきました。特に1学期には最後の宿泊学習である修学旅行や中学校生活最後の体育祭があり、クラスとしても学年としても結束を強めることができました。

2学期は私たち3年生にとって3年間の集大成ともいえる時期です。今後も1年生や2年生へ模範を示し続け、胸を張って2年生へとバトンを繋いでいけるように今まで培ってきた力を存分に活かしていきます。そして、今後さらに進路決定や受験を意識した大事な時期へと差し掛かっていきますが、半年後には悔いなく卒業できるよう3年生一同頑張っていきます。

【2年生代表】 第2学年委員長

2年生の1学期を振り返ると、クラス替えもあり、慣れない環境に不安もありましたが、クラス毎に協力し合い、少しずつまとまりができてきたと思います。特に体育祭や EC 那須では、準備の段階から一人一人が積極的に行動できたのは良かった点として挙げられます。

一方で提出物や言葉遣いについてはまだ課題もあると思います。特に休み時間の過ごし方や給食、清掃の当番など、細かいところまで意識できれば、さらに良い学年になるはずです。

2学期からは委員会や部活動などの集団生活において、中心となって活動していく立場となります。そこで、全員がその自覚を持って行動していくことが大切だと思います。また、もうすぐ文化祭もあります。クラスや学年が一体となって練習の段階からメリハリを持ち、思い出に残る行事にしていきたいと思っています。

【1年生代表】 第1学年委員長

私たち、1学年は「それゆけ青葉たち～あくなき挑戦の始まり」という目標のもと、生活してきました。岩井臨海学園や体育祭など様々な行事を通して、共に過ごし、共に学び、協力することがどれほど大切なのかを実感し、学校生活に活かすことができました。

一方、切り替えが遅く、落ち着きのある行動が取れなくなっていることが課題です。

2学期からは、来年後輩が入ってくるので、メリハリがあり、しっかりと自立することが出来る学年になりたいと思っています。

